

競歩って何？

競歩とは、簡単に言えば、「早歩き競争」のことです。

競歩には、50 k mと20 k mの距離が異なる二種目（女子は20 k mのみ）があります。

勝木選手が出場する50 k m競歩は、1932年ロサンゼルス大会からオリンピック種目となり、東京2020オリンピック競技大会では、日本のメダル獲得が期待されている種目でもあります。

また、2024年パリオリンピック大会からは、男子50 k m競歩が廃止されるため、東京2020オリンピック競技大会が、男子50 k m競歩を見られる最後の大会となります。

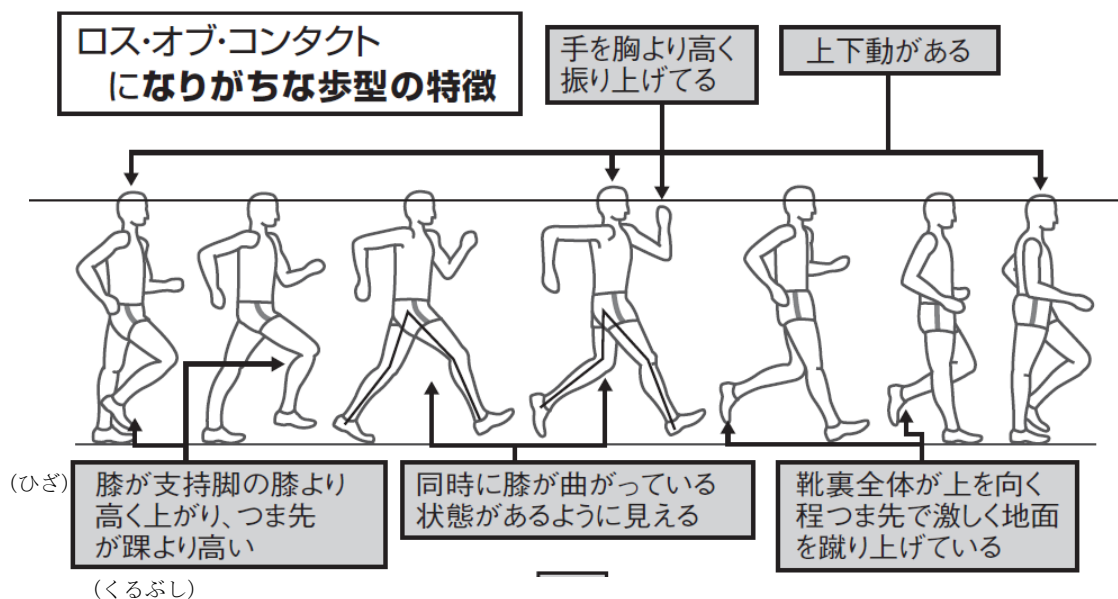
ルールは？

選手は一斉にスタートし、最初に歩き切った選手が勝者となります。

競歩は、陸上競技の中で最もルールが複雑だと言われています。

主な反則は次の二つです。

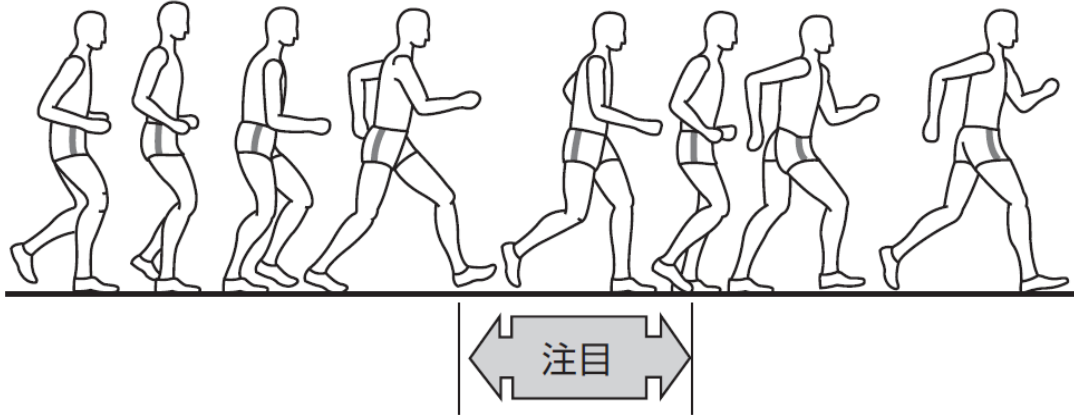
「ロス・オブ・コンタクト」



競歩では、選手のいずれかの足は、地面についた状態でなければなりません。

両足が同時に地面から離れた状態を「ロス・オブ・コンタクト」と言います。

「ベント・ニー」

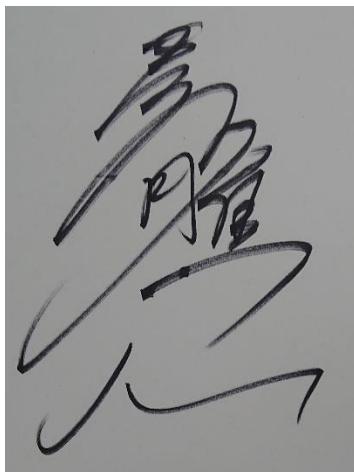


にほんりくじょうきょうぎれんめい いんよう
(日本陸上競技連盟ホームページから引用)

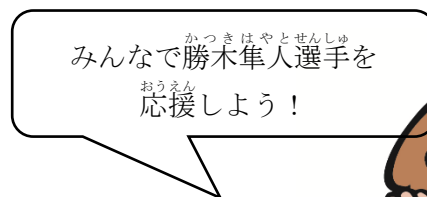
競歩では、前足が地面に着いた瞬間から垂直の位置になるまでの間に、ひざが伸びていないといけません。ひざが伸びていない状態を「ベント・ニー」と言います。

審判は、選手が反則していないかどうかを常に確認しており、反則した選手に対しては、「注意 (イエローカード)」を出します。それでも直らなければ「警告 (レッドカード)」を出します。

選手は、三人以上の審判からレッドカードを出されると「失格」になります。



勝木選手が本市に寄せてくれたサイン



大野城市イメージキャラクター

まどかちゃん